



私は、土屋前会長の後を受け継ぎ、令和7年5月の総会で第4代会長に就任いたしました、平成3年卒の星野です。どうぞよろしくお願いいたします。

立命館大学技術士会は、会員同士の親睦と個々の技術レベルの向上を図ることのほか、技術士を目指す後進の支援や母校の発展、社会活動への技術的貢献などを目的として、平成21年12月に発足しました。

この間、次世代を担う学生たちに「技術者の思い」を伝えていくことが特に重要であると考え、大学と連携して様々な活動に取り組んでいます。具体的には、「技術士懇談会」や「めざせ！技術士」、「先端技術」などの特別授業に、建設コンサルやゼネコンなど様々な分野で活躍する会員を非常勤講師等として派遣し、社会での土木技術者の役割や使命、やりがいを分かりやすく伝えていただいております。毎回好評を博しています。令和4年1月には、当会編集の電子書籍第2弾として「土木技術者が語る未来 ～今、伝えたい技術者の心～」を発刊しました。会員16人から若い未来の技術者に向けたメッセージが込められていますので、まだ読まれていない方は、是非ご一読いただければ幸いです。

この間、特に次世代を担う学生たちに「技術者の思い」を伝えていくことが最も重要な取り組みの一つであると考え、大学と連携して開催しています「技術士懇談会」や「めざせ！技術士」における講義や、その他各種授業における非常勤講師や補助講師への協力を通じて社会での土木技術者の役割や使命、やりがいについて、建設コンサルやゼネコンなど様々な分野で活躍する当会会員から分かりやすく伝えており、毎回好評を博しています。

また、技術士を目指す卒業生に対しては、願書の書き方から筆記・口頭試験対策まで、手厚いサポートを行っており、合計のべ48人の合格者を輩出するに至っています。これも、ひとえに会員のみなさんの熱いご支援の賜物であると感謝しています。

少子高齢化・人口減少の想定を上回る進行や社会インフラの老朽化、災害の頻発化・激甚化など、様々な課題が顕在化し、AIの急速な進化も相まって、社会構造が劇的に転換しつつあり、我々技術者の社会的使命は益々重要になっています。このような環境の中で、立命館大学技術士会が、会員相互の交流や情報交換、研鑽の場として有効に活用されることを望んでいます。今後、微力ながら、立命館大学技術士会の発展に努力させていただければと思っています。

みなさんの益々のご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

立命館大学技術士会 会長 星野和之